

調査の実動部隊として



令和3年採用
関東管区行政評価局評価監視部評価監視官付

渡邊 隆靖 WATANABE RYUSEI



趣味の登山でリフレッシュ！

行政運営改善調査と常時監視活動

私が所属する関東管区行政評価局評価監視部では、本省が示す「行政運営改善調査」の調査計画に沿って、関係機関へのヒアリングや現地調査等を行っています。一担当者として、関連する法制度や各主体の取組状況等についてよく勉強し、調査の狙いや調査事項を正しく理解した上で調査に臨むよう心掛けています。

また現在、特定の社会的問題について、管内の各種報道や自身の問題関心を端緒に情報収集を行い、行政上の課題として本省に報告する「常時監視活動」にも注力しています。社会的問題を取り巻く制度や仕組みを把握・整理し、その中で行政上の不備、行政が改善すべき事項とは何かを分析する必要があり、難しくもやりがいを感じています。

行政評価局で働く魅力

学生時代、業務説明会をきっかけに行政評価局について知りました。各府省の業務実施状況等を調査し、改善方策の提示から改善措置状況を把握するためのフォローアップまで行う、行政運営改善調査を始めとする局業務の社会的意義に魅力を感じ、そのような仕事に携わりたいと強く思い、今に至ります。

その時々調査テーマに応じた法制度だけでなく、日常的な情報収集や政策の効果検証のための統計的分析手法など、新しいことを学ぶ機会に恵まれた職場であると感じています。法令理解等で悩む場面もありますが、上司や先輩職員に聞くと、分かりやすく丁寧に教えてもらえるので、日々、沢山の学びを得ながら業務に取り組むことができます。

よりよい暮らしのために



令和3年採用
中国四国管区行政評価局行政相談課

野尻 真帆 NOJIRI MAHO



庁舎の近くにそびえる広島城

困っている人に届ける

行政相談は、国民の皆さんから国の行政に関する意見・要望・苦情をお聴きして、解決されるように働きかける仕組みです。私は、その行政相談の担い手である行政相談委員（総務大臣から委嘱された民間のボランティア）の活動を支援する業務を行っています。地域のイベントや小中学校等での出前教室など、県内の色々なところに出向いて、行政相談委員と協力しながら行政相談制度をPRしています。最近では、相談手段の多様化のため、タブレットを活用した相談対応や、オンライン研修にも力を入れています。

国民の皆さんに、困ったときの頼り先の一つとして「行政相談」という選択肢を持ってもらえるよう、日々考え、業務を行っています。

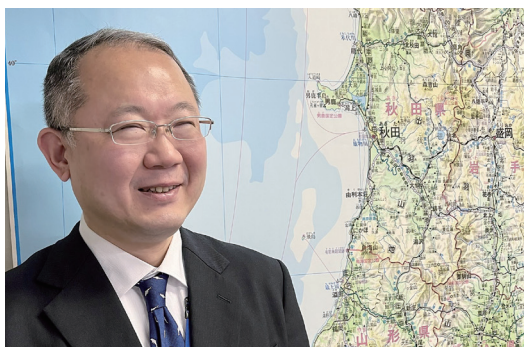
国民にも、仕事仲間にも、耳を傾ける

行政相談は、国民の声に耳を傾け、改善につなげる仕事です。そのような仕事を日々行っているからこそ、職場内でも仲間の意見や相談に耳を傾け、解決・改善に向けて一緒に考えていく雰囲気があります。

公務員の仕事は、ルーティンワークが多く融通が利かなそう、というイメージがあるかもしれませんが、実際には、職員の意見を反映しながら随時業務の見直しを行っています。

若手だから、と遠慮せずに気づいたことをどんどん口に出していくことで、自分たちや行政相談委員の仕事の効率化、ひいては国民の生活の改善につながることもあります。風通しの良い職場で、生き生きと働いてみたい方は、ぜひ総務省の説明会に足を運んでみてください。

東北の元気アップのために



平成18年採用
東北総合通信局放送部放送課長

柏崎 幹夫 KASHIWAZAKI MIKIO



課内打ち合わせで情報共有と作戦会議

東北びいきで仕事ができます

東北総合通信局は、総務省の出先機関として、本省で策定した情報通信関連の各種法令や政策を、地方において執行する役割や、地方の声を国(本省)に届ける役割を担っています。

放送課では、電波法・放送法に基づく放送局の許認可・監督、難視聴対策や放送の強靱化のための補助金等の支援、受信障害相談、原発被災地における地上デジタル放送の受信対策など、東北地域の放送の普及に関する事務を行っています。

本省では通常、特定の地域に注力する対応はできませんが、東北局ではこの地域の特色を生かし、ICTによる地域課題の解決と活性化を目指して「東北びいき」で業務に当たることができ、日本を支える地方での勤務のやりがいを感じます。

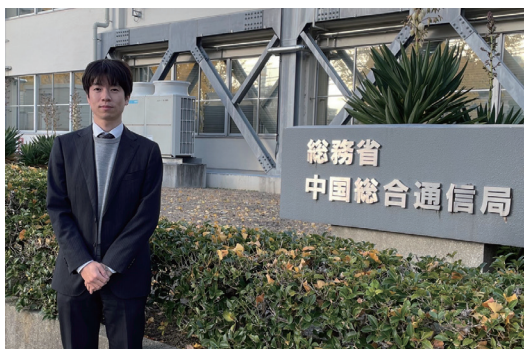
得意なスキルを深め、そして役立てる

テレビ、ラジオ、携帯電話、無線LAN、いずれも電波があって使えるものです。私は、大学で学んだ電波の知識を深め、生かしたいと思い、転職を経て総務省に入りました。

行政職のため、企業や研究職ほど一つの分野を掘り下げるには至りませんが、上記の無線システムの他、これまでに航空無線、列車無線、防災無線、気象レーダ等の無線局免許や技術基準策定を担当したことで、仕事を通じて幅広い知識が得られました。

また、東日本大震災の発生時には、本省で、災害対応機関が使う周波数の臨時割当を担当しました。未曾有の災害における国の膨大な対応の一部ではありますが、非常に重要な業務であり、そこに自分のスキルを役立てることができました。

ICT政策の現場に立って



令和元年採用
中国総合通信局無線通信部陸上課

土屋 幸輝 TSUCHIYA KOKI



休日などには広島物産を堪能

新たな側面から

例えば皆さんの生活に最も身近なツールであるスマートフォンは、電波を使用した無線通信を行っているのですが、そのような電波の利用には原則として無線局の免許などの許認可が必要となっており、それに係る手続などが電波関係法令に定められています。

地方支分部局はそのような許認可などに係る業務のうち実運用の部分を担当しており、私は携帯電話や電力・ガス会社等からの無線局の新設・変更申請などに係る許認可の適否の審査やそのような企業等の無線局が免許を受けた際の条件を持続できているかを定期的に確認する検査などを行っています。その他ローカル5Gなどの申請に係る相談対応も含め、電波制度の適正な運用が確保されるよう日々業務に取り組んでいます。

情報通信行政に携わること

情報通信技術（ICT）は、日進月歩で進化し、その市場やサービスの変化が制度よりも先を行く分野になります。そのようなICTが私たちの社会を大きく変えていく中で、産官学の様々な立場の方と関わりながら、その政策や制度の企画、立案、推進などに携われることが数ある府省庁の中での総務省ならではの魅力ではないでしょうか。

また、総務省は情報通信分野だけでも所掌する分野が多岐にわたっており、自分の興味・関心がある分野や強みが発揮できる分野に出会える機会に恵まれていることも魅力として挙げられるかと思っています。

総務省に少しでも興味のある方は、一度説明会へ足を運んでみてはいかがでしょうか。